

事業番号 2022 - 文科 - 新22 - 0025

令和4年度第2次補正予算行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	地域ニーズに応える産学官連携を通じたリカレント教育プラットフォーム構築支援事業			担当部局	総合教育政策局	作成責任者			
事業開始年度	令和4年度	事業終了(予定)年度	令和4年度	担当課室	生涯学習推進課	生涯学習推進課長	神山 弘		
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	経済財政運営と改革の基本方針2022(令和4年6月7日閣議決定) 成長戦略フォローアップ(令和4年6月7日閣議決定) 新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画(令和4年6月7日閣議決定) 教育未来創造会議(第1次提言)(令和4年5月10日)				
主要政策・施策	-			主要経費	文教及び科学振興				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	大学コンソーシアムや自治体等に対して、産官学金の対話の場(リカレント教育プラットフォーム)の構築等への支援を行い、地域ニーズに応える人材の継続的な輩出に向けた仕組みの定着化を図る。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	大学コンソーシアムや自治体等において、①地域に分散している人材ニーズの調査・把握、②教育コンテンツの集約、③それらのマッチング、④広報・周知等を産業界のニーズを踏まえながら効果的・効率的に実施する体制を整備できるよう、産官学金の対話の場(リカレント教育プラットフォーム)の構築や、コーディネーターの配置等に必要経費を措置し、地域ニーズに応える人材の継続的な輩出に向けた仕組みの定着化を図る。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	/		
		補正予算	-	-	-	296			
		令和4年度第2次補正予算	-	-	-	296			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	0	0	0	296			
	執行額	-	-	-	-				
執行率(%)	-	-	-	-					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!					
令和4年度第2次補正予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度第2次補正予算	主な増減理由						
	教育政策推進事業委託費	296							
	計	296							
活動内容(アクティビティ)	大学コンソーシアムや自治体等における、①地域に分散している人材ニーズの調査・把握、②教育コンテンツの集約、③それらのマッチング、④広報・周知等を産業界のニーズを踏まえながら効果的・効率的に実施する体制の整備								
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	産官学金の対話の場(リカレント教育プラットフォーム)の構築	事業委託件数	活動実績	件	-	-	-	-	-
			当初見込み	件	-	-	-	10	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	委託費/事業委託件数			単位当たりコスト	千円	-	-	-	29,605
				計算式	千円/件	-	-	-	296,047/10
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標年度	目標最終年度
	地域ニーズに応える人材の継続的な輩出に向けた仕組みの定着化	外部の有識者委員会によって地域ニーズに応える人材の継続的な輩出に向けた仕組みの定着化が見込まれると評価された委託先件数	成果実績	件	-	-	-	-	-
			目標値	件	-	-	-	-	10
達成度			%	-	-	-	-	-	

根拠として用いた統計・データ名(出典)		委託団体からの実績報告書等に基づく外部有識者の評価			
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	1 新しい時代に向けた教育政策の推進		
		施策	1-4 生涯を通じた学習機会の拡大	政策評価書 URL https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_1-4.pdf 該当箇所 達成目標3(施策目標1-4-6、1-4-7)	
	新経済・財政再生計画改革工程表	取組事項	分野:	文教・科学技術	1. 少子化の進展を踏まえた予算の効率化と教育の質の向上
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/report_211223_2.pdf	
		該当箇所	5-3. リカレント教育の推進		
事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性		事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	「経済財政運営と改革の基本方針2022」、「教育未来創造会議(第1次提言)」等において産官学によるリカレント教育の推進に向けた対話の場の構築が求められており、国民や社会のニーズを的確に反映した事業である。	
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、得られた成果を全国へ普及することを目的の一つとしているため、地方や民間が個別に行うものではなく、国が総合的に推進していく必要がある。	
		政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、産官学金の対話の場(リカレント教育プラットフォーム)の構築や、コーディネーターの配置等に必要な経費を措置し、地域ニーズに応える人材の継続的な輩出に向けた仕組みの定着化を図るもので、政策目的の達成手段として必要かつ適切であり、優先度の高い事業である。	
事業の効率性		競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○		
		一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	支出先の選定に当たっては、複数者による企画競争を行い、外部有識者による審査を実施する予定であり、支出先の選定方法は妥当である。	
		競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
		受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-	
		単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	事業経費が効率的に執行されるよう、委託要項等において、委託費の用途を明確化するなどにより、単位当たりコストの削減に努める予定である。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	契約時及び委託費の額の確定手続きにおいて、費目・用途の内容を厳正に精査し、支出の合理性・必要性について適切にチェックする予定である。	
		不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	委託費の額の確定において、費目・用途の内容を厳正に審査するなど適切に確認を行う。		
事業の有効性		成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-	
		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-	
関連事業		関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
		事業番号	事業名		

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				
平成28年度				
平成29年度				
平成30年度				
令和元年度				
令和2年度				
令和3年度				

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。
 なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

文部科学省
296百万円



委託【随意契約(企画提案)】

A. 地方自治体、民間団体等(10機関)
296百万円

- ・リカレント教育プラットフォームの構築
- ・コーディネーターの配置 等

費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.			
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
-	-	-	-	-	-	-	
計			0	計			0

